

神戸華僑の

あゆみ

神戸華僑歴史博物館
事務局長

林 宏仁



今年には神戸開港140年目の記念の年である。同時に、神戸華僑の歴史が140年目を迎えた年でもある。1868年の神戸開港時、長崎から十数名の中国人が神戸に移り住んだ



1892年、大型台風に見舞われた神戸海岸通写真手前の白服・辮髪の人華僑貿易商人

ことが、その歴史の始まりである。数年後、在神中国人は500名を越え、以降、彼らは「三把刀（さんぱとう）」とよばれる刃物を使用した3つの職（理髪業・洋服仕立業・飲食業の他、貿易業・塗装業・印刷業その他様々な仕事を通じて、国際都市神戸の発展の一端を担ってきた。

異国の地になじんで根を下ろす、華僑の生き方を表した「落地生根（らくちせいこん）」という言葉がある。華僑のみならず日本人も集まる食材市場としてスタートした南京町をはじめ、神戸華僑は落地生根の精神で神戸に愛着を持ち、いつの時代も市民との共生を図って努力を重ねてきた。

その結果として現在、人気観光スポットとなった南京町のほ

か、関帝廟、神戸中華同文学校、孫文記念館、神戸華僑歴史博物館など、神戸には中国文化を伝えるスポットが豊富にある。日中間で最初の友好都市関係を結んだのが神戸市と天津市だったのも、この9月に世界華商大会が神戸で開催されるのも、開港以来、市民と親しく交流し、信用と友好を積み重ねてきた華僑の先人たちの努力の賜物である。

現在、神戸には約1万人の中国人が暮らしているが、若い世代の華僑には、そのルーツを知らぬ者も多い。華僑の先人たちが市民と共生し、築き上げてきた文化遺産を享受するだけでなく、先人たちの歩みを振り返ることによって、未来の発展を模索することが、若い世代の華僑にとって大切であると思う。



1935年頃のトアロード
 当時はドレスメーカーやテイラー、ペンキ屋など華僑の店が多かった



1933年当時の神戸南京町

おもなできごと

- 1868 (明治元) 兵庫(神戸)開港 中国人が長崎から神戸へ来る
- 1878 (明治11) 清国駐神戸理事府(領事館)開設
- 1888 (明治21) 關帝廟建立
- 1889 (明治27) 神販中華会館落成
- 1893 (明治29) 孫文、神戸上陸
- 1897 (明治30) 大阪華僑、大挙神戸へ移住
- 1899 (明治32) 神戸居留地返還 神戸華僑同文学校(現在の神戸中華同文学校)創立
- 1904 (明治37) 中華会館、社団法人認可
- 1909 (明治42) 神戸中華商務總會結成(現在の神戸中華総商會の前身)
- 1911 (明治34) 辛亥革命 中華民国僑商統一聯合會結成、革命支持を表明
- 1912 (大正二) 中華民国建国
- 1913 (大正二) 孫文亡命 諏訪山に潜伏
- 1915 (大正四) 移情閣竣工
- 1924 (大正13) 神戸高等女学校にて孫文「大アジア主義」講演(翌年没)
- 1931 (昭和6) 満州事変
- 1937 (昭和12) 盧溝橋事件
- 1941 (昭和16) 太平洋戦争勃発
- 1945 (昭和20) 太平洋戦争終戦 神戸華僑總會結成
- 1949 (昭和24) 中華人民共和國建国
- 1957 (昭和32) 神戸華僑聯誼會結成
- 1959 (昭和34) 神戸中華同文学校学校法人化
- 1972 (昭和47) 日中国交正常化
- 1973 (昭和48) 神戸・天津友好都市関係樹立
- 1976 (昭和51) 神戸華僑總會・神戸華僑聯誼會統合
- 1978 (昭和53) 日中平和友好条約
- 1979 (昭和54) 神戸華僑歴史博物館開館
- 1984 (昭和59) 孫中山記念館(現在の孫文記念館)開館
- 1987 (昭和62) 第一回春節祭
- 1990 (平成二) 兵庫県・海南省友好提携関係樹立
- 1994 (平成六) 神戸華僑總會民族楽器回華雷(ホアレイ)結成
- 1995 (平成七) 阪神・淡路大震災
- 1998 (平成10) トアロードに中華会館新館落成
- 2001 (平成13) 移情閣が国の重要文化財に指定される
- 2007 (平成19) 第九回世界華南大会を神戸で開催



開港以来、ずっと、
華僑たちは神戸とともに歩み足跡を刻んできました。
140年の月日を重ね、
いつしか中国の文化は神戸のなかに
欠かせないものとなっています。
望郷の念。未来への希望。
さまざまな思いが込められた場所を、
中国の叙情をやさしく歌う歌手の李浩麗さんにご案内いただきます。



神戸に 中国を訪ねて



李浩麗 (りこうれい)

神戸生まれ。小学校から高校までを台湾で学び、声楽をはじめ。現在は声楽を基調とした独自の歌唱と表現法でソロ活動をおこなうだけでなく、中国楽器やさまざまな民族楽器とのコラボレーションで、国境やジャンルを越えた活動で注目を浴びている。国際音楽祭など友好交流演奏会に積極的に参加。新ユニット「SOHA」のニューアルバム『六月茉莉〜Jasmin in June』も好評発売中。

おしらせ

李浩麗 with チャイニーズアンサンブル華 コンサート 花好月圓

9月23日(祝・日)午後2時開演(午後1時30分開場)
兵庫県立美術館「アトリエ」
神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1(阪神岩屋駅下車南へ徒歩約10分)
<http://www.artm.pref.hyogo.jp/> TEL.078-262-0908
入場料(全席自由席・税込)
前売3,000円/当日3,500円
問合せ オフィス華音(カノン) TEL.078-230-0400
兵庫県立美術館ミュージアムショップ TEL.078-265-6655



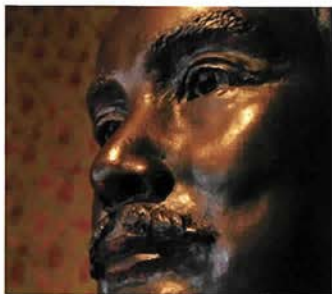
時につれ情緒も移る海望む

孫文記念館 (移情閣)

そんぶんきねんかん
(いじょうかく)

潮風、そして絶景。明石海峡大橋のふもと、白石青松の舞子の地に立つ若葉色の楼閣、移情閣は、中国革命の父として歴史に名を刻む孫文を顕彰する記念館になっています。

孫文は何度も神戸を訪ねましたが、大正2年(1913)舞子の地へも来訪、中国人貿易商の呉錦堂の「松海別荘」で華僑や財界有志から歓待されました。太正4年(1915)にその「松海別荘」の東側に建てられたのがこの移情閣。現在は国から重要な文化財に指定されています。そと時を留める館内。窓の外ではラメのように輝



孫文記念館(移情閣)

神戸市垂水区東舞子町2051
078-783-7172
<http://www.sonbun.or.jp/>
JR舞子駅下車徒歩約6分
山陽電鉄舞子公園駅下車徒歩約7分
開館時間 10:00~17:00
休館日 年末年始(12/29~1/3)
入館料金 一般 300円
小中学生 150円
65歳以上 200円
※身障者・ココロカードのびのびパスポート利用者は無料

く海に船が行き交い、その先に翠緑の淡路を望みます。世界への大夢か。故郷への郷愁か。孫文や呉錦堂はこの景色に何を思ったのでしょうか。それにしてもこの壮大な橋や、その上を飛び神戸空港へ行く飛行機の姿など、たぶん想像もつかなかったでしょうね!
復元された金唐紙の壁。装飾が凝らされた天井。浪漫あふれる佇まいの中、静かに孫文の書や銅像、貴重な資料などにふれば、しばし時空を越えた旅人になった気分になります。





壮麗の中にも篤い信仰が

関帝廟

かんでいびょう

山手幹線から少し入った静かな街角に、突如あらわれた紅の門。緑もさやさやとそよぐ関帝廟は今日も篤い信仰を集め、お線香の白煙が絶えません。ここに祀られているのは、三国志の英雄、関羽です。豪放で信義に厚い武将であつた彼は西暦219年に戦死しましたが、後に信仰の対象となり、やがて信

義を重んじる神戸華僑の心の拠り所になつていったのです。

山門をくぐり、まず眼にするのが二つの唐獅子。左は子宝に、右は財産に、なると御利益があると書われています。壮麗にして荘嚴な本殿へ。屋根を飾る双龍。欄間の透かし彫り。細やかな装飾の数々は息をのむほど繊細で、凛とした空気を感じます。日本の伝統的な建築に中国風の意匠を採り入れた「中日折衷」の空間は、日中の接点である神戸を象徴するのでしょうか。

せつかくですから、おみくじはいかが？棒を引いたあとに神筭(三日月型の神具)を投げ占うユニークなものです。

開廟から120年もの歳月が経つた今も、信仰や文化は神戸とともに息づいています。

関帝廟

神戸市中央区中山手通7-3-2
078-341-2872
<http://www.zhonghua-huiguan.com/>
地下鉄西神山手線県庁前駅下車徒歩約10分
神戸高速鉄道花隈駅下車徒歩約5分
拝観時間 9:00~17:00
拝観無料

神戸華僑のあゆみを 深く識る



神戸華僑 歴史博物館

こうべかきょう
れきはくぶつかん

文化には、必ずそれを

支える歴史があります。

神戸華僑歴史博物館は

貴重な史料から、開港か

ら現在までの華僑の生活

や文化、活動や交流のあ

ゆみを学ぶことができます。

港から発展した神戸を

陰で支えてきたのは、まさ

に華僑の人たち。「三把刀」

とよばれる西洋料理・理髪・

洋裁などの職を通じて、

西洋文化と神戸を結ぶ大

きな役割を果たしてきました。

また、神戸華僑が辛

亥革命に貢献したことや、

貿易などで利益をあげた

華僑たちが私財で地域に

貢献してきた事実もあま

り知られていません。

「華僑の『僑』とは、『仮

住まい』の意味。彼らはい

つかは祖国へという思いで

神戸で暮らしていたのです」

という事務局長の林宏仁

さんの解説に、「落地生根」

とこの街と共存共栄して

きた華僑たちの胸の内を

察すると心にしみるもの

があります。親しみやす

くていいねいな解説も魅力

です。

神戸華僑の足跡をたど

ると、港町神戸の歴史が

よく見えてきます。神戸

で中国を語るには欠かせ

ないスポットです。



神戸華僑歴史博物館

神戸市中央区海岸通3-1-1 KCCビル2F
078-331-3855

http://

www16.ocn.ne.jp/~ochm1979/index1.html

地下鉄海岸線みなと元町駅下車徒歩約4分

JR・阪神元町駅下車徒歩約7分

開館時間 10:00~17:00

(入館は16:00まで)

休館日 水曜日(祝日の場合翌日)・

年末年始

入館料 一般 300円

中・高・大学生 200円

65歳以上 200円

※小学生以下は無料

※「シティー・ループ1日乗車券」提示で一般

は200円に

■世界華商大会期間中

(9月15日(土)~17日(月祝))は入館無料

■世界華商大会のあゆみがわかる

特別展示を9月17日(月祝)まで開催中



チャイナタウンは 今日も賑わう



神戸南京町

神戸市中央区栄町通1〜2、
元町通1〜2
JR・阪神元町駅下車徒歩約3分
地下鉄海岸線旧居留地・大丸前駅下
車徒歩約3分

街を行き交う人・人・人。お店から沸き立つ湯気。いつも活力がみなぎっているここ南京町は、神戸の街に欠かせない存在感があります。

賑やかに街を飾る装飾や軒を連ねるお店が異国情緒を醸すこの街は、すっかり観光地として親しまれていますが、もとは居留地の西側に華僑が住み始めたのが街の起源。さまざまなお店が軒を連ね、かつては全国から買い物が押しかけたそうです。ちなみに以前は横浜や長崎のチャイナタウンも「南京町」と呼ばれていましたが「中華街」と改称され、定着して残っているのはここ神戸

神戸 南京町

こうべなんきんまち



だけのです。

東西約270m、南北約110mのエリアには、約40の中華料理店、約15の中華食材店が並び、ほかにも中華雑貨や中華スイーツのお店など、いつでも飽きません。この夏から情報タッチパネルも設置されて、ますます便利になりました。

春節祭(旧正月)や中秋節(旧暦の8月15日)は、もはや神戸を代表するお祭りです。中華パワーを肌で感じに、ぜひこの楽しい街を訪ねてください。



世界華商大会
期間限定メニューが登場!

9月14日(金)~17日(月)

南京町にあるお店約20店が参加して、
期間限定メニューを作成。それは「神戸
牛を使ったお料理」!詳しくは事務局へ。

■南京町振興組合事務局
078-332-2896 (平日11:00~16:00)

JR・阪神
元町駅

神戸南京町 案内マップ



元町商店街



南京町広場には、土支トハンダの石像がある



第10回中秋節
(旧暦の十五夜に祝う秋の一大イベント)
9月22日(土)~25日(火)

長城街



南京西路

麒麟街

友愛街

南京北路

南京町広場

中山街

東龍街

長安門

南京東路

臥龍殿
(市民トイレ)

南京南路

香港街

南楼門

西安門

仁愛街



大理石「漢白玉」を用い、無数の龍と雲の彫刻が施された美しい楼門



中華料理

一番人気のあのメニューも、知る人ぞ知るあのお料理も…。中華が美味しい街、神戸を代表する名店からとっておきの一品をご紹介します。さあ、何食べる？



肉汁に乾燥椎茸を融合させた「椎茸豚肉包」は新しい味。ひと口食べれば、肉汁があふれ出す。

豚饅 老祥記・曹家包子館

南京町



豚饅 老祥記
神戸市中央区元町通2-1-14
10:00~18:30
(売り切れ次第終了)
TEL.078-331-7714
月曜休



曹家包子館
神戸市中央区元町通1-3-7
11:00~18:30
(売り切れ次第終了)
TEL.078-331-7726
火曜休

南京町広場にできる長蛇の行列はお馴染み。一日13000個が売り切れるというから驚き。麴で発酵させた厚めの包子が美味しさの秘訣。平成17年には、姉妹店「曹家包子館」がオープン。



北京料理 神戸飯店

長田区



神戸飯店
神戸市長田区腕塚町5-5-1
アスタくにつか1番館3F
11:00~14:30 (LO)
17:00~20:30 (LO)
TEL.078-642-4839
水曜定休
<http://www.kobehanten.co.jp/>

国内の美味が集う都の料理はとにかく豪華。昭和12年の創業以来「五味調和・色香味全」を追求する神戸飯店の料理は、見た目も味覚も芸術品。繊細な技が食卓を華麗に飾ってくれる。



高級食材を使用した前菜盛合せ(写真は4人前)



特選 神戸の



イカのてんぷら、水ぎょうぎで知られる南京町の人気店民生。単品のメニューでも3〜4人前のボリュームなので、多くの料理を注文し、取り分けて食べるのがオススメ。

上海カニのミン、卵に国産豆腐を炊き込み、ズワイガニの身を浮かべた「蟹粉豆腐」は絶品。1,800円(小)、3,000円(中)。

広東料理 民生

南京町



広東料理 民生

神戸市中央区元町通1-3-3
11:30~15:00(L.O14:30)
17:00~20:00(L.O19:30)
TEL.078-331-5435
月曜休

「良友酒家」の人気火鍋が、予約なしでOK(3,675円、2名様より)。その上本格的な広東料理から自家製の点心まで楽しめる店。火鍋は、鶏ガラのあるさりスープと、香辛料を入れたスープの2色鍋。

廣東料理・火鍋

Liáng Yǒu

元町

廣東料理・火鍋 Liang You

神戸市中央区三宮町3-9-20南泰ビルディングB1F

TEL.078-333-6684

11:30~15:00 / 17:00~22:00(L.O.)

第1・3火曜休

良友酒家(本店) NHK神戸放送局西側

TEL.078-221-5866(月曜定休)

<http://www.ryoyu-shuke.com>



鍋釜火鍋(2人前より受付)
約30種類の具材と
その日おすすぬめのお料理2品が
ついてお一人様5,250円
(写真は2人前)



香港広東料理 紀元

中央区元町



香港広東料理 紀元
神戸市中央区下山手通7-6-17
TEL.078-366-3358
11:30~16:00
17:00~20:00(入店)
毎週水曜・第3火曜定休



数々の中国料理店の料理長をつとめ、中華人民共和国駐日本国特命全権大使表彰(兵庫県で表彰されたのは1人だけ)を受けた料理人・黄啓健さんが、腕をこぎった本格中華が、信じられないくらいお手軽な価格で食べられるお店。



オイスターソースの撈麵(ロウメン)は、あっさり味の和え麵。ベテラン料理人の味が堪能できる。スープ付(735円)

Cantonese Cuisine 老香港酒家 北野店

中央区北野町



老香港北野店
神戸市中央区北野町2-1-5
TEL.078-222-1556
11:30~15:00(LO)
17:00~21:00(LO)
無休
<http://www.oldhongkong.jp>



本場香港の最新トレンドを研究しつつ、常に新しいスタイルを提案し続ける、神戸を代表するレストラン。食材のバリエーションは大変豊富で、特に新鮮魚介を使った料理には定評がある。お昼の香港式飲茶コースも大人気。



ハスの香りが芳しい荷葉蒸鮮蝦(川津エビのハスの葉包み蒸し)は、新鮮な川津エビの旨さが凝縮されている。ピーナツオイルとねぎ、生姜の入った塩味のタレで。

広東料理 群愛飯店 南京町店

南京町



広東料理 群愛飯店 南京町店
 神戸市中央区元町2-4-3
 TEL.078-332-3635
 11:30~15:00
 17:00~21:00 (LO20:15)
 (土日11:30~21:00)
 火曜定休

本場中国からシェフを招聘し、本格広東料理が楽しめる群愛飯店。人気メニューは、ミンチのレタス包み、エビのチリソースなど。今回は世界華商大会中の限定メニューも登場。



世界華商大会開催中の限定メニュー・神戸牛のバラ肉土鍋煮込みカレー。世界に冠たる神戸牛のバラ肉を、じっくり煮込んだ特製カレー。上質な肉なので脂もちょっともしつくない。



上海の伝統的家庭料理といえは愛園。新鮮な海鮮料理がお手頃価格でいただける嬉しいお店。人気メニューは、ショウガと醤油で炒めたカニ炒め、名物魚の煮付、骨付き肉の酢豚など。

上海料理 愛園

中央区元町



上海料理 愛園
 神戸市中央区北長狭通3-4-10
 TEL.078-331-3354
 12:00~15:00 (LO14:30)
 17:00~21:30 (LO21:00)

月曜定休

<http://www.2u.biglobe.ne.jp/~mivo/>

活きたカニを豪快に捌き片栗粉をまぶし、ネギ、ショウガ、醤油で一気に炒める旨味を引き出す。新鮮だから身はプリプリ、ミンも生臭くなく旨味が濃厚。



栄康オリジナル銚子には李白が残した詩が記されている。

「天地既愛酒 愛酒不愧天」

天も地も酒好きである以上、酒好きなのは天地に恥じる事はない。
月下独酌四首の第二首の一部より



※注1 栄康(株)の商標となっている太白醉酒の絵



伝統の甕仕込み・甕貯蔵を守り、熟練した職人たちが手造りする。そして、極上の紹興酒となる。料理は勿論、こだわりのお店では紹興酒にもこだわる。そんな紹興酒を神戸の中華料理店などに、幅広く卸す栄康株式会社。

1951年、独自に香港ルートで中国酒の輸入業を開始。1982年に前社長長平野康之氏が紹興酒の郷を訪ねた際、その窯元の一つ「紹興瓷廠」の正面玄関に飾ってあった太白の置物を特に願って買収求め、栄康の商標として登録した。(※注1)

現在では野間均氏が栄康の伝統を受け継ぎ、数多くの中華料理店が信頼する酒の名店となった。

栄康で取り扱う商品は紹興酒の中でも、昔ながらの甕仕込み。ビン詰の紹興酒は殺菌のため高熱処理が施され、紹興酒が一度温められるが、甕の紹興酒は甕の内部を高熱殺菌するため、紹興酒が温められることはない。よって、甕の紹興酒の方が味がまろやかになると言われている。甕の紹興酒は短いものでも



甕の蓋は殺菌作用のある蓮の葉で蓋をされ、その上から土で密封され熟成する。輸出される際に土蓋をとり、石膏にて密封しなおしさらに藁で蓋をする。

中国銘酒
中華食材

栄康株式会社

〒651-0087
神戸市中央区御幸通3丁目2-7
TEL.078-242-0241 (代)
FAX078-242-0243
ytaipaku@apricot.ocn.ne.jp

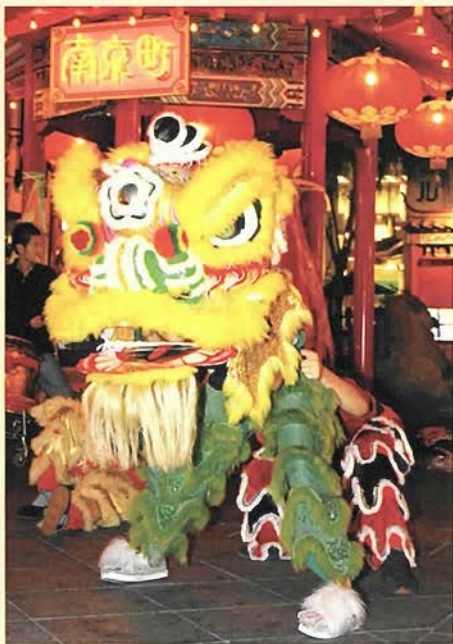


太白酔酒

3年以上、長いものでは10年という歳月をかけ寝かせる。なかでもこだわりの一品は、熟成中に甕の底には澱が貯まるが、その澱によって紹興酒が劣化する場合があります。通常はその澱を取り除く。しかしその澱を取り除かずに熟成し、甕入れから一度も手を加えていない紹興酒がある。この紹興酒を仕入れ、倉庫にて保管。お客様より注文があった際に甕を割り、スタップが試飲チェックをし、品質検査にクリアした商品をお客様に届けるといった安心・信頼のサービスを提供。また、栄康オリジナル紹興酒「太白酔酒陳十年」24ℓ甕もあり、多くの料理店から絶大なる信頼を得ている。

南京町で「招福」獅子舞を熱演！しせいかな

神戸南京町 獅誠館



鍛冶谷健市さん

鮑耀豊さん

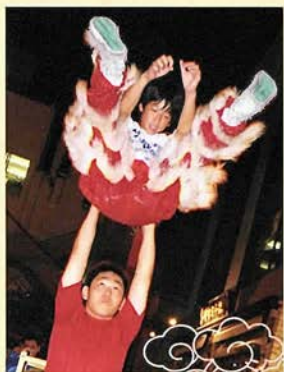
南京町春節祭や中秋節などお祭りに欠かせないのが、華やかな獅子舞。「神戸南京町獅誠館」は、南京町や、元町周辺の若者たちが集まって7年前に発足した。

部長・藤井克也さんは、発足当時、高校一年のころから参加している。「先輩たちからは、演技だけでなく、礼儀も学びました。自分自身もとても成長できたと思います」と藤井さん。独自のアレンジの振り付けは、本場・中国や、横浜の中華街に出かけて情報を集めるのだという。「獅誠館の獅子舞は、楽しいのがモットー」と、何よりも見に来た人が楽しめる舞台を創り出している。

獅子は前脚役と後ろ脚役で構成される。鍛冶谷健市さんは、軽い身のこなしで、獅子の頭と前足を担当。彼にかかれば、コミカルな獅子の表情が自在に。



藤井克也さん



夜の南京町で練習を重ねる皆さん

南京町商店街 振興組合

■連絡先

☎078-332-2896

<http://www.nankinmachi.or.jp>

たちの姿が印象的だった。

真剣に何度も練習するメンバー

きあいあいとした雰囲気ながら

い、危険をともしなう演技を、わ

で披露する舞いを練習。台を使

会のオープニングと、中秋節祭

取材した日は、今回の華商大

特徴。メンバーは随時募集中だ。

館は、国籍や所属などに関係な

やりたかったのだという。獅誠

く、やりたい人が参加できるのが

頭役を軽々と抱えあげてしま

う鮑耀豊さんは脚役。衣装をす

つぼりかぶりながら、頭役と一

体となつて舞い、支えともなる

脚役。獅子舞は小さいころから

る。夢は、自分のお店をもつこ

となのだとか。

実は鍛冶谷さん、昼間は南京町

の広東料理店「民生」の厨房で

働き、その後練習に参加してい